

現代ビジネス学部では、1年次からプロジェクト型学習に取り組んでいます。3年次の「プロジェクト実践」では、「学生のパワーでまちを元気に」をモットーに地域連携事業に取り組んでいます。今回は、現ビス1期生（3年生）のこの秋の活動を中心にお伝えします。

プロジェクト実践① 高砂元気プロジェクト

「高砂元気プロジェクト」チームは、今学期、高砂銀座商店街のお店の取材と、高砂市での買い物アンケート調査を行いました。10月には、田中屋模型店さま、11月には、「そらまめ」さま取材しました。田中屋模型店さまは、50年以上の歴史があり、プラモデルファンには有名なお店、「そらまめ」さまは、高砂商工会議所の紹介で空き店舗で起業されたばかりの和食のお店です。今後も商店街で頑張っておられるお店を取材しSNSで情報発信する予定です。買い物アンケート調査は、地元のショッピングモール撤退による「買い物難民」について調査することを目的としており、高砂の市政にも貢献できるものとしてBANBAN TVの取材も受けました。



さらに、11月8日（木）には「Fablab Takasago」で、兵庫県立東播工業高等学校建築科の生徒さんと一緒に、地域活性化キックオフイベントを開催しました。「Fablab Takasago」は、古民家をリノベーションし、コワーキングスペースにしてモノづくりを行う場所を作り、さらにそこを地域活性化のハブにしていくプロジェクトです。建築科の生徒さんがデザイン設計を担い、大学生はマーケティングや地域活性化の企画を担当します。今後、どのような活動が育っていくのか、楽しみです。



「プロジェクト実践」での取り組みを現ビス3年生が紹介

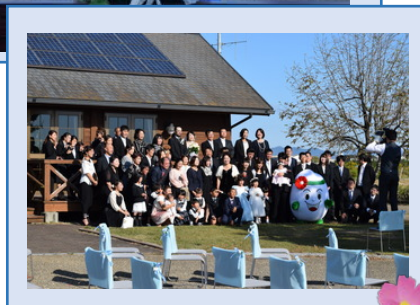
2018年10月20日(土)21日(日)に県立明石公園で開催された「ふれあいフェスティバル in 東播磨」に出展し、学生たちが取り組んでいる地域連携の3つのプロジェクト「加古川てらこや」「高砂元気プロジェクト」「志プロジェクト」のパネルを展示し、取り組み内容や成果を紹介しました。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。

本学「受験生応援サイト」現代ビジネス学科のページには、プロジェクト実践での学びを紹介する動画をアップしています。こちらもぜひご覧ください。



173 de Wedding

2018年11月3日(土)、稲美町の地域資源である加古大池にて「173 (いなみ) de ウェディング」を開催しました。これは稲美町と兵庫大学との平成30年度採択官学連携事業で、稲美町の魅力をウェディングを通して発信するものです。結婚式を挙げたいカップルを公募して、現ビズ2・3年生の学生と約4000組のウェディング実績をもつ石川夕起子客員教授が、企画から挙式までのサポートを行い、当日は結婚式会場の設営や式進行に携わりました。学生たちは、挙式のプロデューサーとしてかかわってきました。学生の中には、お2人の幸せな姿を見て、感動のあまり目を潤ませる姿も見受けられました。すばらしい結婚式になりました。



プロジェクト実践② 「加古川てらこや」



2018年11月18日(日)、小春日和の中、加古川市の日岡山公園で行われたピクニックマーケットで開催された「親子 de 謎解きアドベンチャー」を現ビズ3年生プロジェクト実践「加古川てらこや」チームの学生5名が、受付、進行、配膳などで協力しました。

当日は、約200名の親子が参加し、公園内に設置されたポイント5か所を回りながらそれぞれクイズに答え、かつ暗号を紐解き隠されたキーワードを見つけ出しました。ゴール後はOAAはりまハイツの食堂でご当地グルメ「恵幸川(えこがわ)鍋」が参加者全員にふるまわれ、皆でおいしくいただきました。

来年1月には、8月に好評だった「加古川てらこや」第2弾を開催します。今回の経験も活かし、さらに充実したプロジェクト実施を目指します。



インターンシップ報告会

2018年10月24日(水)、8月に実施した「短期インターンシップ」の報告会を開催しました。会場には、インターンシップに参加した現ビズ3年生のほか、1・2年生も出席して報告を聴講しました。

企業ごとに実習内容や成果、課題、感想が報告され、3年生にとっては、これからの就職活動に向けた心構えを改めて確認でき、さまざまな準備となりました。1・2年生にとっては、少し先のことでありますが、今の大学生活で心がけたいことなど3年生からのエールを受け、キャリア開発の動機づけにつながりました。

